

赤野井自治会だより

令和6年(2024年)11月1日 発行
世帯数 373 戸 人口 995 人 (R6.9/30 現在)
発行責任者 自治会長 鈴木 繁幸
LINE 登録者: 216 人 インスタグラム: 102 人

大カン畑の土地活用は可能なのか？

自治会が特別委員会を設置して、検討をはじめます。

赤野井町の地区計画で、小学校の周辺またはすこやか道路や浜街道沿いに新築の住宅が建てられています。一方で、在所の中の空き地や広大な畑である大カン畑(約 14,000 m²)は耕作放棄地として雑草が生え、環境面や見た目にも悪い状況下にあります。

放棄地の問題は作業者の高齢化が大きな要因で、ここ5年、10年後のことを考えると一層深刻な問題となることは避けられない状況で、自治会としても何らかの対応が求められています。

赤野井町は町内全域の宅地や白地の田畑を地区計画の開発地域として指定しているものの、実際に関係するにはその土地に繋がる一定の道幅を有する接道が必要となるもので、今後はこうした一定の要件を充たすかどうかを大カン畑整備検討委員会(委員長 堀井久嘉)に不動産関係の専門業者にも同席いただき、自治会としての取り組み方を決めていきます。

(進捗状況は適時ホームページや赤野井だよりで報告し、進み具合により関係者や地権者の方にも説明し、よりよい形で進んでいくように努めていきます。)



古民家活用事業「公開プレゼン」を実施！！

4名から活用事例の提案を受け、採用は湖南市在住の田中さんに決定。

10月25日(金)午後3時30分より、予てから公募していた古民家の活用プランについて応募のあった4名から順次提案を受けました。

当日は、審査委員に文化遺産プランニング代表井上ひろ美さん、京都新聞記者石田真由美さん、守山市市民協働課参事吉野誠さんを迎え、住民15名が出席する中順番に特徴ある取り組みをまとめた活用事例の提案を受けました。

採点は審査員と住民が項目毎にそれぞれ評価し、トータルの採点結果と最終候補者との面談を行った結果、計画の現実性と地元連携の視点が提案された田中啓子さんに決まりました。

今後、具体的な活用について自治会と調整し来年のオープンに向けて諸手続きを進めていくことになります。



赤野井すこやかサロン

10月9日（水）に「赤野井すこやかサロン」が自治会館で開催されました。『これ、何やったっけ?』『そうやった、鶏の水飲み』など、そんな会話で各グループ盛り上がってました。恒例の健康体操の後、小グループに分かれて、昔懐かしい生活道具を使っ
ての回想法による認知症予防講座の一コマです。次回は、12月9日開催です。



優勝は高岡道江さん！！協議員も一緒に楽しみました

10月20日（日）交流広場グランドゴルフ場において、第1回グランドゴルフ自治会長杯を行いました。これまでもこうしたタイトルの大会は行われていたものの、町内の愛好者を統一した大会は初めてで当日は28名が参加して32ホールをラウンドしスコアを競いました。

みなさん日々の練習の成果を発揮され、ホールインワンも全部で18回出るなど終始圧倒されっぱなしで、初めて経験した私（鈴木）もみなさんが夢中でグランドゴルフをされる気持ちが分かったように思いました。成績上位の方は次のとおり。

【優勝】高岡 道江さん 【準優勝】高岡 はつ江さん 【3位】堀出 實さん



恒例の学区民の“つどい”と“大運動会”が盛大に開催されました！！

10月26日（土）と27日（日）の両日に、玉津学区の一大行事が無事に開催されました。両日も天候に恵まれ、多くの方が参加され、まさしく学区民の親睦と交流の場となりました。我が赤野井自治会もつどいの模擬店にはたこ焼きとフライドポテトを販売し、どれも完売となりました。また大運動会では第一分団が3位入賞、第二分団が4位と奮闘しました。両日お手伝いを頂いた方やご参加いただいたみなさんに感謝申し上げます。

